

しんぶん  
**赤旗**

日刊 ●月 3497円  
日曜版 ●月 990円

南地域後援会は本町・寿・緑・若松・栄・白山・船戸・新田がエリア

連絡をいただければ「しんぶん赤旗」の見本を届けます



# しらかば

日本共産党我孫子南地域後援会  
発行責任者 木村 文次

## 総選挙結果 日本共産党は比例4議席確保

**志位和夫議長議席  
はたの氏が引き継ぎ**

2月8日に投票が行われた総選挙で、日本共産党（改選前8議席）は比例で4議席を獲得しました。南関東ブロックでは志位和夫議長の議席を引き継ぎ、はたの君枝氏が議席を獲得しましたが、千葉県で先頭にたつて頑張り抜いた、さいとう和子氏の2議席目の奪還は果たせませんでした。

千葉県小選挙区では、日本共産党は8つの選挙区で候補者を擁立して健闘しましたが、議席獲得には至りませんでした。

日本共産党をご支持いただいた有権者のみなさん、後援会のみなさんに心から感謝を申し上げますとともに、ご期待にこたえる結果が出せなかったことについて、おわびを申し上げます。

**「高市旋風」が  
吹き荒れた選挙**

今回の選挙で高市首相は、内閣支持率の高さだけを頼りに、「高市早苗でいいのかを国民が決める選挙」という一点で総

選挙を押し切るという作戦をとり、急速に「高市旋風」が吹き荒れるという状況がつけられました。その結果、自民党、そして連立を組む維新の会の与党が衆議院の議席の3分の2を大きく超える「圧勝」という結果となりました。



自民党が、こうして得た多数議席によって「大軍拡」や「非核三原則」見直し「スパイ防止法」「憲法9条」改悪などの反動的な政策を強行するならば、国民に甚大な不幸がもたらされます。高市政権の強権政治と「戦争国家」づくりに正面から対決する日本共産党の役割は、いっそう重要となっております。

**「二つのゆがみ」を  
正す共産党の提案**

選挙戦で日本共産党は、暮らしと経済、安保・外交、人権などの柱で、国民の要求に応え、「アメリカいいなり」「財界中心」という自民党政治の「二つのゆがみ」を正す立場から共産党ならではの提案を訴えてきたか

ました。選挙戦で訴えてきた内容は、全体として国民の利益にかなわない、道理あるものだったと確信しています。

**ブレずに希望ある  
政治の実現へ**

日本共産党は党の公約を実現するために、ブレずに希望ある政治の実現へ全力で奮闘します。そして何よりもどんな情勢のもとでも勝利・躍進できる強く大きな党をつくるために、いっそう全力をあげる決意です。



全力をあげるにやー

みなさんのご支援・ご協力を心からお願いいたします。  
(しらかば編集部)

日本共産党我孫子市議団のホームページのサイトは <https://jcp-abiko.com/> です。スマホのQRコードはこちらから。→



### お花見のお知らせ

- ▼場所 手賀沼公園 (雨天中止)
- ▼日時 3月29日(日)10:00から公園正面入口右手
- ▼会費 500円 (飲み物 おつまみ代)
- ▼昼食 各自持参下さい
- 12:00頃解散予定

主催 日本共産党我孫子南地域後援会

JR各社は3月14日にダイヤ改正を実施します。今回のダイヤ改正は主に新幹線の増発と所要時間短縮が中心となる改正ですが、JR東日本は加えて運賃改定も実施します。

### 2026・3・14 JR東日本ダイヤ改正 & 運賃改定

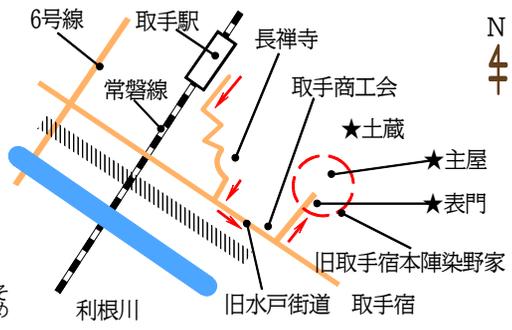
定後は適用がなくなり値上げになります。値上げの理由として、JR東日本は安全・サービスの維持向上、老朽化した車両・設備の更新、激甚化する災害に対応する設備投資や修繕を続けるために必要な資金を確保することが困難な状況と云っています。一方で架線断線による長時間の運転見合わせが連続して発生。しかも架線の摩耗に気づいていながら、間違って別の架線を交換していたという人為的なミスが原因とは。あまりにお粗末としか言いようがありません。(緑I)

### オオバン

総選挙結果がっかりした読者も多いのではないのでしょうか。なぜこんな結果になったのでしょうか。第1に高い支持率での抜き打ち解散と短期決戦。第2に女性初の総理で「サナエ」イメージの拡散とSNS戦略の成功。第3に安保法制と原発反対を捨てた立憲民主の責任▼本来、総理大臣が持つ衆議院の解散権は、衆議院の内閣不信任案に対抗するものです。4年の任期の3分の2も残り、党利党略での解散。何の大義もありませんでした▼議院内閣制の日本では首相を選ぶのは国会議員。それを今度の選挙は高市が野田か斎藤かを選べとして、過去の悪政の責任をすり替えました▼自民党の小選挙区での得票率は49.2%で、議席占有率は86.2%。比例代表での得票率の36.7%を合わせた衆議院の議席占有率は67.9%。死票の多い小選挙区制の弊害が過去最高でした▼自民党だけで憲法改正の発議以外は何でも出来る様になってしまいました▼それでも私達は正論を述べ、国会の内外で護憲の市民と共に戦うしか道はありません。新しい戦前の道を進ませないために。

(R)

我孫子古道巡り 2092 取手宿を巡る②



今回は「旧取手宿本陣染野家住宅」を巡ります。

取手駅東口を出て、長禅寺に沿って歩き旧水戸街道に出て東に進み、北側の「取手市商工会」の先に本陣があります。



表門

表門・土蔵・主屋の建築物があります。「表門」は文化2年(1805)に建てられ、その後台風による倒木で大破したものを再建しています。



主屋

「土蔵」は18世紀から19世紀に建てられたものです。



土蔵

「主屋」は寛政7年(1795)に再建されたもので、茅葺屋根の立派な建物で、正面の玄関は駕籠のまま入れる「式台」が付いています。

東の大戸から入ると、広い「土間」が見学できます。土間の奥には「石くど」があり、天井の立派な梁組が見られます。板張りの「廊下」が部屋を一周し、部屋は10部屋あり、東側の6部



廊下と庭

屋は染野家の居住空間です。



上段の間

「なかのま・三の間・二の間・上段の間」が武士が本陣として利用する部分で、上段の間は大名など身分の高い武士が利用する部屋で床が20cm程高くなっています。染野家は代々取手宿の

名主を勤めており、貞享4年(1687)に水戸徳川家から本陣に指定されたと伝えられています。  
(栄 関口)  
参考文献「旧取手宿本陣染野家住宅パンフレット」

しらかば文芸欄 42 随筆・寿 K

わが家のペットは犬一頭と猫三頭。昨年初秋のある日、ボスの雄猫が十三年の生涯を終えて天に召された。ボスは俺の膝をいつも独り占め。犬と二頭の猫は恨めしそうに眺めていた。ボスが召されて膝取り争いが勃発。でも二頭の猫は先輩の犬には叶わない。今度は犬が膝を独り占め。寝る時は俺の布団の上に乗るから重たい。でも夏は暑いので、さすがに犬も布団の上には乗らない。代わりに猫達。代わって猫達が枕元で寝るようになった。猫が膝に乗れるのは唯一トイレの時だけ。トイレに入ると猫たちも我先にと入って俺の膝に。仕方なく「小」の時も座って行うようになった。ちなみに猫は三頭とも保護猫。



常磐線あれこれ 61

1987年4月、国鉄は分割民営化されてJR東日本が発足しました。当時常磐線と並行する常磐自動車道は1988年11月にいわき中央ICまで延伸して、高速バスや乗用車との競争が激しくなっていました。JR東日本は対抗策として特急「ひたち」の増発を重ねてきましたが、国鉄時代に登場した車両(4003系)では速度やサービス面で見劣りするため、根本的な改善策を迫られていました。そこで平成最初のダイヤ改正となる1989年3月に登場したのがJR東日本発足後、最初の特急電車とし



特急「スーパーひたち」



「パンジー」 若松・高橋祥子

は、流麗さを印象つけたことから「タキシードボディ」とも呼ばれました。他にも新しい内装やサービス設備など、それまでの特急電車のイメージを一新しました。(注)平駅は1994年12月3日から、地元の強い要望で市名である「いわき」に改称されました。いわき市は1966年10月、平・磐城・常磐・勿来・内郷の5市と周辺の町村合わせて14自治体が合併して発足したもので、当時は日本一市域の広い自治体でした。(緑 竹内)